

論壇

イノベーションに必要

「真面目で約束や時間をしっかりと守り、信頼がおけて協調的である」「気まぐれで自分勝手に、周りのことを気にしないで、約束や時間を勝手に破る」。仮にこうした二つのタイプの人がいたとしたら、あなたはどちらの方がよいだろうか。おそらく大半の人は前者を選ぶのではないか。たしかに、友人としてはその方がよいかもしれない。

ただ、社会全体として見れば、前者のような人ばかりではずいぶん窮屈になってしまう。人と違

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

挑戦者に活躍の場を

ったことをやることが容認されず、時間やルールで厳しく縛る。信頼を裏切った人は許してもらえない。そうした社会は息苦しい。

経営学では、イノベーションについて多くの研究が行われているが、後者のような人がいないと、新しい技術や発想は生まれないと

指摘されている。そもそも企業とは、これまでずっと積み重ねた経験や技術を毎日同じように繰り返すことで機能する。たとえば鉄道が事故を起こさず定時で運行するためには、過去から積み上げた経験とノウハウがきちつと毎日実行されるからだ。工場や店が日々事

故やトラブルもなく動いているのも、従業員がみな協力して同じことを日々間違いないで行っているからだ。

のようなタイプの人が活躍できるような社会にいくことが必要である。日本人の中にも「気まぐれで周りの人のことを気にしない」人は少なくないはずだ。ソニ

ーの創業者の井深大氏やホンダ創業者の本田宗一郎は、直接お会いしたことがあるわけではないが、いろいろな本や資料を読むと、どちらかといえばこのタイプのよう

だ。当時の日本では、そうした人たちが活躍するチャンスがたっくんあった。

真面目で協調的な日本

残念ながら、経済の停滞と運動するかのうちに、真面目で協調的な人ばかりが目につく社会になってしまった。その方が居心地がよいというのが、日本という社会な

のかもしれない。居心地がよいのは結構だが、新しいことにチャレンジする人が減って、経済も停滞してしまった。

いまの日本が苦しんでいる閉塞感から日本を救ってくれる人がいるとすれば、「気まぐれで周囲のことを気にしない」人たちがもし

必要はないが、少しでもそうした人たちの活躍の場が広がることを望まれる。コロナ禍で社会がニューノーマル(新しい日常)に変わると言われる。これまでと違った社会になるといえるのであれば、「気まぐれで周囲のことを気にしない」人たちが活躍する場が広がるのかもしれない。そうした人たちの活躍に寛容な社会にならなくてはいいのではないだろうか。